

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 上の茶屋

(ユニット名)

菖蒲(あやめ)

記入者(管理者)

氏名

安部 直子

評価完了日

平成 19 年 8 月 27 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月19日

【評価実施概要】

事業所番号	3890500022		
法人名	株式会社 お茶屋の里		
事業所名	グループホーム 上の茶屋		
所在地	新居浜市西の土居町二丁目8番15号 (電話) 0897-35-3339		
管理者	安部 直子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年9月7日	評価確定日	平成19年10月19日

【情報提供票より】 (平成19年8月25日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( )円 (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( )円 (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成19年8月25日現在)			
利用者人数	18名	男性 5名	女性 13名
要介護1	3名	要介護2	7名
要介護3	5名	要介護4	3名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 88歳	最低 74歳	最高 101歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>車イスを使用されている利用者を誘導する職員を決めたり、消火器の使い方も利用者とともに練習されている。又、地域に防災組織があり、自治会長より連絡がまわるようになっている。</p> <p>利用者の居室には、ご家族の写真や絵、位牌、タンス等が持ち込まれている。ご夫婦でゆっくり過ごすことができるようなしつらえも工夫をされていた。</p> <p>畑仕事や読書、編み物が趣味の方がおられ、野菜を収穫したり、事業所で使用する雑巾を縫ってもらう等されている。職員は、感謝の言葉を伝えておられる。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の評価結果を受けて、利用者の身体機能に合わせて浴室や居室に手すりを設置された。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・自己評価は、朝礼時、職員が集まる際や全体会議時等で職員全員の意見を聞き、管理者がまとめられた。自己評価作成時、職員は、利用者への言葉かけが適切でない時があったりするのではないかと日々を振り返られた。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・地域の方より「認知症とはどういうものか?」ということについて話をしたいという意見等もあり、実行できるようすすめておられる。又、ご夫婦で利用されている方の暮らしぶりについて紹介をされた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・家族会は行事に合わせ開催されており、利用者が転倒・骨折した際や体調不良時の事業所の対応について等、ご家族の不安ごとについて説明をされている。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・法人で自治会に加入され、地域の一員として交流に努めておられる。月1回行われる地域のふれあいサロンに利用者が参加されている。地域の運動会や文化祭へ参加されている。ご近所の方が大正琴を演奏に来訪してくださっている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>職員全員で、その人らしく暮らしていける事を考えて、理念を作り上げた。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員全員で「いつも笑顔で穏やかな暮らし」という理念を作りあげ、利用者個々が穏やかに暮らせることを目指し、取り組んでおられる。</p>		<p>地域密着という点も踏まえての理念をまた考えていきたい。</p> <p>今後、さらに「地域密着型サービス」として事業所が目指すことを理念に加えていかれることを検討されていた。</p>
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>職員は毎日ミーティングで理念を唱和し、具体的なケアについても話し合い意識統一を図っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念を念頭におき、その人の立場に立つケアを職員全員が心がけておられた。又、各ユニットでの理念の掲示や朝礼時、職員が集まり理念を唱和され、共有に努めておられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム便りやパンフレット等を地域の方に配ったりしている。見学の方達にも理念を説明している。</p>		町内の会合、イベントなどに参加はしているがその時にも理念、役割なども伝えるように取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩に出かけ、近所の人とあいさつを交わしたり、お花や野菜などをおすそ分けしてもらったりしている。		近所の人たちを招待して、一緒にお茶などの飲んでお話などができる機会を持てるようにしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 校区の運動会、文化祭には参加し、地域の人々と交流を持っている。		地域の老人会の行事にも、参加できる人は参加して頂き、交流が持てるように努めたい。
			(外部評価) 法人で自治会に加入され、地域の一員として交流に努めておられる。月1回行われる地域のふれあいサロンに利用者が参加されている。地域の運動会や文化祭へ参加されている。ご近所の方が大正琴を演奏に来訪してくださっている。		事業所では、すべての利用者が地域の方達と交流できるよう支援していきたいと考えておられる。又、老人会への参加もすすめていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議では、ホームでの様子など職員の接し方など話はしているが、こちらから積極的に学習会などは開いていない。		認知症や病気に関する学習会などを開いて、ホームに出向いてもらう事を図っていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を全員で取り組み、外部評価の結果を全体会で報告し、改善に向けてミーティングの折りに話し合って実践に向けて努力している。		
			(外部評価) 自己評価は、朝礼時、職員が集まる際や全体会議時等で職員全員の意見を聞き、管理者がまとめられた。自己評価作成時、職員は、利用者への言葉かけが適切でない時があったりするのではないかと日々を振り返られた。前回の評価結果を受けて、利用者の身体機能に合わせて浴室や居室に手すりを設置された。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、事業所からの報告という形になってしまいがちであるが、そこで出た意見、要望は持ち帰り、運営者、管理者、職員で話し合い、サービスの向上に生かすようにしている。		運営推進会議の方法も、参加者も増やしていろいろな意見が出るように持っていきたい。
			(外部評価)		
			地域の方より「認知症とはどういうものか？」ということについて話をして欲しいという意見等もあり、実行できるようすすめておられる。又、ご夫婦で利用されている方の暮らしぶりについて紹介をされた。		今後、ご家族や地域の方等、いろいろな方に参加してもらえるように呼びかけていきたいと考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議以外、特に積極的に交流を図っていない。		今後、行き来する機会を増やし、連携が取れるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			成年後見制度について、市と相談されたり、利用者の退居先や入居時の相談等をされている。		今後、介護相談員の受け入れを通じて、市とさらに連携を図っていきたいと考えておられた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修の機会があれば受けるようにしている。		権利擁護に関する勉強会も、これから取り入れていきたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会やミーティングでも虐待について特に学ぶようにしている。 法律についての学習が少ないので今後、検討していきたい。		全職員から話を聞いて、虐待がないように、ストレスも溜まらないように、交流の場を持ちたい。また、法律についての勉強会も持ちたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には重要事項説明を十分に説明している。家族の考えも聞いて、お互い納得の上で契約をしている。解約時も同じである。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の不満を解消できるようにしているが、外部からの相談員などは来てもらっていない。		介護相談員の訪問も取り入れていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族が来られた時には、暮らしぶりやエピソードなどを報告し、月1回のホーム便りには行事等の報告をし、近況を毎月お便りに載せて送っている。何か変わった事があれば電話にて報告している。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、暮らしぶりや医師からの報告や職員移動について報告している。又、月1回写真入りのホーム便りを送付して、利用者の生活の様子を定期的に報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を置いているが、あまり利用されていない。面会時には、何でも話してもらえそうな雰囲気作りをし、家族との信頼関係を作っている。		家族会も何度か行事の時に行ってはいるが、時間がゆっくり取れず、意見、要望などが伝わらないところもあるので、全員参加できる家族会の設立を考えていきたい。
			(外部評価) 家族会は行事に合わせ開催されており、利用者が転倒・骨折した際や体調不良時の事業所の対応について等、ご家族の不安ごとについて説明をされている。		さらに、今後、家族会について、ご家族個々とゆっくり話し合いができるような会議にしたいと考えておられた。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃より職員の話に耳を傾け、その意見をリーダー会の時に反映させるようにしているが、なかなか実現されないこともある。		全体会の時には、なかなか職員の意見を言う事ができないので、できるような雰囲気作りを行っていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務シフトは、日中も一人一人のニーズに対応できるように職員を確保しており、管理者はシフトに入らないようにし、日中、夜間とも状態の変化に対応できるようにしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者にとって職員は、馴染みの関係でいられるように努めている。必要な異動もユニット間で行い、なるべく顔をいつも見られる場所にいられるようにしている。 (外部評価) ほとんどの職員は、開設時から変わりなく利用者との関係性を築いておられる。		
<b>5.人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での研修にも交代で全員が受講できるようにし、その報告も全体会で話しをしてもらい、全員で共有するように努めている。 (外部評価) 職員が、外部研修に積極的に参加できるよう法人でも配慮をされている。研修受講後、報告書を作成し事業所の全体会で報告されている。職員は、苦情解決や介護予防体操の研修を受け、実践に活かしておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム連絡協議会からの研修や管理者同士の交流会などにも参加し、サービスの向上につなげている。		管理者同士の交流会も、今年市内で初めて行われ参加し、交流を図るようにしている。相互研修も今年から取り組んでいる。
			(外部評価)		
			市内のグループホームの管理者同士の交流を図っておられ、記録類の記入方法等についても意見交換等がされた。		さらに、今後、職員の相互研修等を通じ、ネットワーク作りをすすめていきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者は、管理者や職員、個々のストレスを軽減するために、特に積極的に取り組んでいない。環境も整っていない。		気分転換できる場所を確保していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			全員の把握はできていないが、職員の資格取得には支援しようと取り組んでいる。		運営者もなるべく現場に来て、管理者や職員の話聞くように努めている。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			利用までに本人には必ず会って話を聞くが、家族から聞く方が多い。入所前に体験という形を取り、ご本人の思いを理解しようと努めている。		今後も家族との信頼関係を深め、入所されてからも本人の思いや不安を受け止められるよう努めていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談の時から家族に、何に困っているか、何が不安なのかを良く聞き、事業所としてはどのような対応ができるか話し合っている。		引き続き努力したい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人やご家族から相談をうけた時には状況を確認し当ホームでの生活が難しければ他の施設、他のサービスの利用などに向けた対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に見学してもらい、1日または1泊体験などで徐々に馴染んでいってもらえるように努めている。 (外部評価) 入居間もないころは、ご家族に頻繁に来訪していただく等、ご家族にも協力を得ながら利用者が事業所に馴染めるよう取り組まれている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者を人生の先輩であるという考えを常に持つようにしているが、時折、介護しているという意識が強くなる事もある。 (外部評価) 利用者が、悲しい時には、職員が寄り添い、安心できるよう声をかけられたり、眠れない時には、ゆっくりとお話を聴くようにされている。		毎日のミーティングや全体会の時にも繰り返し話して職員の意識統一を図っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族によってそれぞれ状況が異なっている。 家族と職員の思いが少し違っているところもある。		職員は家族の思いを聞く機会を増やし、情報の共有に努め、共に支える関係を作っていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などのお誘い、ご家族と一緒にの外出などをすすめたりしているが、家族により状況が異なっている。		家族の思いを聞く機会を増やし、共に支える関係を作っていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) なるべく馴染みの関係をとぎれない様、いきつけの病院、理美容院、お店などに行ったり、親戚の家へ遊びに行ったりできる様に支援している。		これからも続けていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者の関係に配慮し、食事の時の席や外出時の車の席など、トラブルの無いように努めている。		利用者同士の関係が悪くなっていた時の対応がうまくいかない時もあり、今後円滑にいくよう努めたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ご家族の方から相談があれば話を聞き、できることは支援しているが、こちらからは積極的に取り組んではいない。		それぞれのご家族の状況も異なるので、その方に応じた支援をしていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日頃の生活の中で、言葉や表情などから思いを察し、なるべく希望に添えるように努めているが、まだまだ希望に添えられないこともある。		職員全体が一人一人の思いを把握できるよう努めていきたい。それが難しい時は家族からも聞き、本人本位に検討していきたい。
			(外部評価)		
			日頃の暮らしの中での利用者の言葉を記録されている。		さらに、意思表示のむづかしいような方についても日々のかかわりの中から把握に努めていきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入所時、本人やご家族より聞き取りをし、生活の中でも会話や歌などから、どういう暮らしぶりだったのかを把握できるよう努めている。		ご家族の状況でなかなか情報が入ってこないケースもあるが、プライバシーに配慮しながら、訪問客などからも聞けるようなら聞いてみるようにする。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人一人の一日の流れ、生活状況より、その人のケアに生かせるよう努めている。		職員全体で小さな変化も気づけるように努めていきたい。
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人、ご家族から希望を聞いているが、カンファレンスには参加してもらっていない。担当職員を決め、日々の申し送りなどの意見もふまえ計画を立てている。		利用者本位のケアプランになるようにする。カンファレンスに家族も参加してもらえるように努めていきたい。
			(外部評価)		
			担当者が作成した介護計画を月1回のユニット会議時、職員全員で検討されている。医師の意見も反映しながら計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の変化に伴い、ミーティングを行っているが記録としては不十分である。家族との話し合いもそれぞれで十分にできていない所もある。		途中の変化の記録なども、その都度記録しておくようにする。家族との話し合いも不十分な所もあり、連絡を密にとっていく必要がある。
			(外部評価)		
			3、6カ月の定期的な見直しと利用者の状態に応じて随時見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の様子、実践したことなど、生活記録に記入し、毎日のミーティングで変化等を報告している。情報を共有する為に、日誌、回覧等で確認している。		細かな所で伝わらないこともあり、くりかえし伝達していく必要がある。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況を見て、他の事業所への紹介等を支援している。		その都度、状況が変われば、家族と話し合い、利用者にとって暮らしやすい場所を提供していくように支援していく。
			(外部評価)		
			利用者が針、マッサージに通われる際の送迎や散髪に出かける際の送迎等、利用者の希望やご家族のご都合に合わせて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の人たちよりの慰問があり、中学生や高校生のボランティアも訪問してもらっている。		保育園や小学生達の訪問も各学校などに働きかけていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要に応じて、地域のケアマネジャーと話しをすることがあるが、他のサービスを利用するには至っていない。		他のサービスを利用する必要があるれば、ケアマネジャーと相談し、利用に向けて支援していく。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センターからも参加してくれていて、情報交換を行っている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び家族の希望を聞いて、その医療機関へ受診している。家族が付き添える時は行ってもらい、できない時は職員で対応している。 (外部評価) ご本人やご家族の希望するかかりつけ医で受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ホームのかかりつけの病院に専門の医師もあり、相談したり、診断・治療もすぐ受けられるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームには看護職員はいないが、併設している事業所の看護職員には、日頃から相談したり、訪問したりしてもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 日頃より、病院のソーシャルワーカーと連携をとり、情報交換をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合、本人・家族・かかりつけ医と話し合い、どうすることが本人にとって一番なのかを検討している。		重度化・終末期のケアについては、何度も話し合っているが、全体としての意識統一をして、今後、検討していきたい。
			(外部評価) 終末期、重度化した場合について、事業所の方針に基づき、すべてのご家族と相談や話し合いをされている。		さらに、今後、看護師資格を有する職員の配置等、看取りの体制作りについても検討をしていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 変化がみられたら、家族、かかりつけ医と相談し、職員ともその都度報告し、話し合っている。家族にも「できること・できないこと」を話しして		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入院されたり、他の事業所へ移られた時は、サマリー・アセスメント・ケアプラン等を手渡し、情報交換も行っている。		情報交換を行ってはいるが、移られたあとのフォローがあまりできていない。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>気をつけてはいるが、時々声を掛ける時に、本人を傷つけてしまう時がある。</p>		<p>ミーティングや全体会などでも、毎回話をし、意識向上を図っていきたい。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員が利用者の居室に入室する際には、必ずご本人に声をかけるようにされている。排泄の誘導等の声かけ時等で配慮の必要な場面もあるようだが、職員会で話し合う等、改善に努めておられる。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活の中で、本人に決めてもらえるようなチャンスを作ったり、希望を聞いて、納得してもらえるように支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人の過ごし方を優先しているつもりだが、何が行事があったりすると、つい職員のペースで進めようとすることがある。</p>		<p>一人一人の状態や思いを尊重し、できるだけ個別性のある支援を行っていきたい。</p>
<p>(外部評価)</p>					
<p>新聞を読んだり、近所の自動販売機にジュースを買いに行ったり、散歩に出かける方もおられる。ユニット間の職員が協力し合い、利用者それぞれのペースや要望に応じ支援されている。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>理美容院で行きつけのある人はそこへ行ってもらい化粧品なども今までのものと同じようなものを使ってもらっている。着替えの服なども一緒に見て選んでもらっている。</p>		
54	22	<p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>業者の配食サービスを利用されている。月に数日は、事業所で手作りの日を設けておられる。調査訪問時、利用者がエプロンをつけて職員と料理をされていた。利用者の誕生日等は、ご本人の希望を聞きお寿司等を作っておられる。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ちょっとした畑もあるので、一緒に収穫してもらい季節のものを料理をしてもらったりしている。職員と同じものを一緒に食べている。片付けもできる範囲で手伝ってもらっている。</p>		
55		<p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在は、お酒、たばこを希望されている方はいない。おやつについては健康管理上控えなければいけない人には、調整をしている。</p>		<p>おやつは一人一人の希望に添えない時の方が多いので、検討していきたい。</p>
56		<p>(自己評価)</p> <p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人の排泄のパターンを把握し、少しでも紙オムツ・パットなど減らせるように職員で相談・支援している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日入浴できる体制にはしている。その人の状態を考慮し、声かけや誘導にも配慮し、気持ちよく入浴していただくように支援している。		
			(外部評価)		
			ご夫婦で入浴される場合もある。入浴を拒まれる方へは、ご家族や医師にも声かけの協力をいただくこともある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人一人の状態に応じて、その都度対応できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人のできること、楽しみなどを把握し、暮らしの中で生かせるように支援している。		
			(外部評価)		
			畑仕事や読書、編み物が趣味の方がおられ、野菜を収穫したり、事業所で使用する雑巾を縫ってもらっている。職員は、感謝の言葉を伝えておられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			利用者の状態を見て、希望に応じて所持してもらったり、見守りや同行をして、使えるように支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			利用者の声を聞き、希望に添えるよう、散歩やドライブに出かけている。		
			(外部評価)		
			事業所近くの遊歩道を散歩されたり、近所の方と立ち話をすることを楽しみに戸外に出られる方もおられる。外食の際に、利用者の希望のメニューを選んでもらえるようにされている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			少し遠い所へでも行きたいという声があれば、なるべく行くようにしているが、職員の人数・体調なども考慮しながら支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			できる状況にしている。本人の力で手紙を書いている人もいたり、電話を掛けたり掛かってきたりすることもある。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			入所の時にも説明しており、いつでも来てもらえるように声かけもしている。来られた時はお茶を出し、自室にてゆっくりしてもらったり、声かけしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  職員は理解しており、身体拘束はしていない。		理解はしているが、今後もミーティングなどでも話をし、意識向上に繋げていきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  玄関やテラスに音で出入りがわかるようにし、自由に出られ、その人により、見守りや同行をし、自由に入出入りできるようにしている。 夜間のみ施錠している。  (外部評価)  玄関に音や光を感知するセンサーを設置し、利用者が自由に入出入りできる暮らしを支援されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  職員は、フロアの見守りしやすい場所において、時間を見て、居室やトイレ、入浴なども声かけをし、所在・様子を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  利用者の状態に合わせて、管理・保管をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  事故防止に取り組み、勉強もしている。		今後とも定期的に勉強し、事故防止に繋げていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  定期的には行っていない。		全体会などで定期的に行い、職員全体が応急手当ができるようにしていきたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  避難訓練を定期的に行っている。 地域の人たちにも運営推進会議で話をし、協力してもらえるようにしている。  (外部評価)  車イスを使用されている利用者を誘導する職員を決めたり、消火器の使い方も利用者とともに練習されている。又、地域に防災組織があり、自治会長より連絡がまわるようになっている。		防災訓練に参加する予定。 夜間を想定した避難訓練も実施する予定である。  今後、夜間や地震時の避難訓練も行っていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  家族には、ホームでの暮らしで起こりうるリスクについて、説明しており、本人の生活に支障のない対策をとっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  食事・排便・水分量など一人一人の記録をつけ、体調の変化を見極め、早めの対応をとれるように努めている。		体調変化の記録も細かく残して、今後役に立ってほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 副作用までは理解できていない。服薬の支援はしており、症状の変化には気をつけて支援している。		薬についての勉強会もしていきたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘にならないように食べ物にも気をつけ、運動も支援している。必要に応じて、服薬も行っている。		便秘の原因や及ぼす影響についても勉強会をしていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) なるべく全員が食後に口腔ケアができるようにしているが、プライドを傷つけないように声かけ、誘導にも気をつけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食量、水分量も一人一人の記録をし、職員間で共有している。不足気味の人には、補えるように支援している。		
			(外部評価) 食事中に職員は、利用者の食事がすすむよう声掛けをされている。水分摂取もすすめておられ、熱いお茶や冷たいもの等が選べるようにされていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザは毎年全員接種している。その他の感染症は、毎年研修に参加したり、勉強会をし、予防に努めている。		マニュアル化して、勉強会も続けていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価)  ふきん・調理用具は毎食後消毒をしている。 食材も日時を書いて安全な管理に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価)  花を植えたり、めだかを飼ったり、親しみやすい環境にしている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)  以前は少し暗かったので、電灯をつけて明るくしてもらい、亀やザリガニを飼ったり、草花や置物を置いたりして、居心地のよい空間作りをしている。  (外部評価)  日当たりの良いウッドデッキがあり、自由に出入りできるようになっている。又、季節の花が飾られていたり、カメを飼っておられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)  玄関前や風呂の前など、イスを置いて居場所作りをしている。玄関入った所の共有スペースでも一人で座られたり、気のあった人同士座って話をしたりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者それぞれに使い慣れたものを置いているが、事故に繋がるものは相談して、場所を変えたりしている。		
			(外部評価)		
			利用者の居室には、ご家族の写真や絵、位牌、タンス等が持ち込まれている。ご夫婦でゆっくり過ごすことができるようなしつらえも工夫をされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝の空気の入れ換え、居室、フロアの温度調節などこまめに配慮して、臭いにも気をつけている。光ファイバーなども設置している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			共有ペースには、手すりがついているが、各部屋にはないので、その人の身体機能に合わせて手すりを付けている。		必要な所に手すりの設置を検討していく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			状況に応じて、利用者が混乱しないように、環境整備に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			テラスにもすぐ出られるようになっており、畑へも続いて出られるので、利用者の活動の		

## 自己評価及び外部評価票

. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	すべての利用者の思いを把握できていない。具体的な思いを伝える人も少ないが、表情や態度から感じ取れるようにしたい。
89	利用者職員が、一緒にゆったり過ごす場面がある (自己評価) ①	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やおやつも職員と一緒にしているので、話をしながらゆったり過ごす時間はある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	特に決まったことはないので、一人一人の過ごし方をされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②	② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけ、誘導などで家事やレクリエーションなどをしてもらっている。その時は生き生きとした表情が伺える。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②	② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	なるべく希望に添えるようにしているが、見守りが必要な時は、状況によって、少し時間をずらしてもらったりしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②	② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日バイタルチェックをしており、二週間に一度、医師の往診もあり、わりと安心して過ごせていると思う。状態により、受診もしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②	② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況に応じた支援をできる限り行っている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②	② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には家族から話を伺うよう心がけているが、真意は掴みきれない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③	③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	面会者もあり、毎日近くのお店に通う人もいたり、併設の高齢者マンションに通う人もいる。

## 自己評価及び外部評価票

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ②	地域の人との繋がりも少しずつ深まっていると思う。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ①	行事の際も、それぞれに意見を出し、活躍してくれたり、笑顔もよく見られる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	穏やかな表情が見られるが、時々不満を利用者同士で話をしていることがある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ②	面会時の話、表情などからおおむね満足しているのではと感じられるが、真意はどうかかわからない家族もいる。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 地域の人たちのサークルなどに声を掛けて、慰問に来てもらうように支援している
- ・ 月に1～2回外出食に行くよう心掛けている。行ける時は全員で出かけられるよう努めている
- ・ 季節感を味わってもらおうと、その時期の花を見に行ったり、時期のものを食べに行ったりしている
- ・ 畑で野菜を作り、収穫し、利用者と一緒に楽しんでいる
- ・ 自然に囲まれた環境なので、すぐに散歩に出かけたり、お寺や観音堂もあるので、お参りなども毎日のように行っている